



2021年5月13日

各 位

会 社 名 株式会社ビー・エム・エル
代表者名 代表取締役社長 近藤 健介
(コード番号：4694 東証第一部)
問合せ先 取締役執行役員 武部 憲尚
電話番号 03-3350-0502

第8次中期経営計画（2021-2023）策定のお知らせ

当社は、この度、2021年度から2023年度までの3カ年を対象とする第8次中期経営計画を策定いたしましたので、お知らせいたします。

1. 第7次中期経営計画（2018年度～2020年度）の総括

第7次中期経営計画は、「医療界に信頼され選ばれる企業をめざす」をグループビジョンに掲げた9カ年に及ぶ計画の中間地点に位置しており、具体的には「品質・サービスNo.1」という評価を確立する成長期としておりました。戦略フレームワークを「地域サービス No.1」「検査ラインアップ No.1」「医療界への貢献 No.1」「品質 No.1」の4つの達成目標で構成し、さまざまな施策に取り組んでまいりました。

最終年度である2020年度実績につきましては、新型コロナウイルスPCR検査が増加した影響もあり売上高、利益ともに大きく目標を超えて達成いたしました。

【第7次中期経営計画 業績】

(単位：百万円)

	20年度 計画	20年度 実績	達成率
売上高	120,950	138,571	114.6%
営業利益	10,750	19,936	185.5%
経常利益	11,200	20,803	185.7%
親会社株主に帰属 する当期純利益	6,750	13,711	203.1%

2. 第8次中期経営計画の概要

(1) BML グループビジョン

第8次中期経営計画は、9カ年に及ぶ中長期的な計画の集大成の期に位置し、名実ともに業界No.1を目指す「飛躍期」としております。第6次中期経営計画からグループビジョンとしております「医療界に信頼され選ばれる企業をめざす」のもと品質・サービスの向上を追求いたします。

(2) Mission

第8次中期経営計画では、3つのMissionを定めました。

- ① Customer Satisfaction : 顧客満足
- ② Synergy : 相乗効果
- ③ Social Responsibility : 社会的責任

当社は、医療機関を中心としたお客様の満足度を最大化するとともに、協力会社等の関係各社様との協業で相乗効果を発揮することにより、相互の発展をめざしてまいります。また、持続可能な社会の実現に向けて弊社に求められる社会的責任を果たしてまいります。

これらのMissionを達成するために3つの社内行動方針を定めました。

- ① Consensus : 従業員の総意
- ② Soundness : すべてに健全
- ③ Standardization : 標準化の追求

従業員間のコミュニケーションをより円滑にすることで社内の連携を高め、一つ一つの業務に対し社内の意思統一を図ってまいります。また、コンプライアンスの遵守・堅確な業務運営・盤石な財務基盤の維持・社員の健康増進により、健全な企業体質をめざします。さらに高い品質と効率性を達成するため業務の標準化を追求いたします。

(3) 基本戦略フレームワーク

第8次中期経営計画の基本戦略フレームワークとして、【標準化】と【DX：デジタルトランスフォーメーション】を軸に品質・サービスの向上を追求いたします。具体的には、競争力の拡充として3つの戦略を進めてまいります。

- ① ラボネットワークの充実として、全国ラボの検査工程の標準化および検査項目の充実を図るとともに、次世代対応としての次世代ラボ構想を含めたBML総合研究所再構築の準備に着手します。
- ② 営業力の充実として、顧客基盤の拡大と深耕、さらに非保険分野の強化に取り組みます。
- ③ 集配プロセスの革新として、顧客の利便性の向上や業務負荷の低減のため※1DRS(デジタルレポートシステム)を推進いたします。さらにデータ品質の追求のため温度管理の定着にも取り組みます。

※1 DRS：IT技術を活用して集配プロセスを効率化するツール

(4) DX(デジタルトランスフォーメーション)

顧客体験価値の向上ならびに業務効率化の実現として、DX(デジタルトランスフォーメーション)に取り組みます。具体的には、クラウド版電子カルテの開発・上市、臨床検査システム(B-Liner)の機能拡充およびDRS等を活用し、利便性の向上と効率化を進めてまいります。また、DX推進基盤の構築ではデジタル人財の育成、システム基盤の整備、ITガバナンスの強化に取り組んでまいります。

(5) 第8次中期経営計画 数値目標

第8次中期経営計画最終年度の売上高は、新型コロナウイルス感染症の終息状況により、同関連検査の売上において2020年度比0%~50%の影響を受けると想定しております。従いまして、売上高は、最大1,450億円を見込んでいます。営業利益率につきましては、新型コロナウイルス禍以前の2015年度から2019年度までの5年平均8.3%を上回る8.5%以上を目指します。

(単位：百万円)

	2019年度 実績	2020年度 実績	2023年度 計画
売上高	120,732	138,571	135,000 ~ 145,000
営業利益	9,763	19,936	11,500 ~ 12,500
営業利益率	8.1%	14.4%	8.5%以上

以上